

愛寿会 たより

4月号
第178号
平成26年
4月10日発行



第199回理事会・第39回評議員会の様子

三月二十日（木） 第一九九回理事会並びに 第三十九回評議員会 開催
平成二十六年年度の事業計画と当初予算などが審議され、原案のとおり承認されました

三月二十日（木）第一九九回 理事会並びに第三十九回 評議員会が仁生園会議室で開催され、平成二十六年年度 事業運営方針当初予算のほか五つの議案が上程され審議されました。以下、そのあらましを掲載します。

事業運営方針

一 基本的な事業運営方針

地域の高齢者・障害者のニーズに応え、これまでに以上に「選ばれ、愛される施設」として、九事業を展開して参ります。

二 重点七項目

- (一) 財政基盤の強化・・・将来の財政需要に備え建設積立金の充実を図ります。
- (二) 愛寿会職員処遇改善加算・・・介護報酬の加算金に基づき、職員の処遇改善を図ります。
- (三) 既設ボイラー設備の整備・・・最良のシステムを勘案し、安全で有効な給湯及び暖房設備を整備します。
- (四) 施設整備・充実の取り組み・・・快適な生活環境を確保するため、居室の防寒対策、並びに身の回りの什器備品などの改善を図ります。
- (五) 生活支援ハウス「こあらま」の改修・・・生活支援ハウス事業の今後を見据え、施設の改修などの検討に取り組みます。
- (六) 職員雇用確保策の確立・・・ハローワーク・専門学校などへの訪問、新聞折り込みチラシなどで、職員の確保と充実を図ります。
- (七) 非常時対策・貯油タンクの新設・・・二月の大雪災害を教訓に非常時対策を構築します。

部門別事業計画

一 特別養護老人ホーム及びショートステイ

- (一) 安全・安心な生活環境の提供に努めます。
- (二) 生きがいがある生活の提供に努めます。
- (三) 職員の資質の向上を図ります。
- (四) 利用者様・介護員の介護負担の軽減に努めます。
- (五) 多くの職員が介護福祉士の有資格者となるよう、一層の支援をして参ります。

二 給食（厨房）

- (一) 利用者様の身体状況・栄養状態を的確に把握し、適切な栄養量を提供するとともに、品質管理や衛生管理に努めます。
- (二) 食生活に潤いを・・・四季を感じる行事食、また、好みで選べる選択食など、個々の嗜好を大切にしたい食事の提供に努めます。

三 医務室（施設利用者の健康管理）

- (一) 嘱託医との連携、介護職との協働に配慮しながら的確な業務運営に努めます。
- (二) 感染性疾患の発生予防に努め、施設内外への注意喚起を推進します。

四 デイサービス

- (一) 介護保険法改正により、『新しい総合支援事業』が開始されることとなりました。

施設を安心してご利用いただけるよう。サービスの一層の充実と、その体制の確立に努めて参ります。

(二) 懇切丁寧な接遇を念頭に、利用者様の満足度を追求し、個別の要望に対応できる柔軟性を持った対応に努めて参ります。

(三) ご家族や居宅介護支援事業所様の信頼を得ながら連携を図り、地域のニーズに応えられるよう努力して参ります。

(三) 介護度の改善・維持への取り組みや事故防止対策への取り組みに重点を置いた支援を実施して参ります。

五 グループホーム「やすらぎ」

(一) 心豊かに過ごしていただくために、その方らしい充実した生活が継続できるよう支援して参ります。

(二) 入居者様の、年齢及び介護度が年々高まる中で、健康管理と事故防止は喫緊の課題です。「気付き」を大切に、事故予防に努めて参ります。

(三) 開かれた「グループホーム」を目指して、家族や地元の皆様との関わりを深め、ボランティア等の受け入れや地域行事などへの参画を促すなど、地域社会への溶け込みを支援して参ります。

六 生活支援ハウス「こあらま」

(一) 入居者様の人格を尊重し、生活の安定に配慮するとともに、入居者様相互の交流や地域の皆様との交流を促すことにより、社会的に孤立することがないよう支援して参ります。

(二) 北杜市及び医療・福祉機関等との連携を図

り、入居者が望むサービスの提供に努めて参ります。

七 介護相談センター

(一) 支援計画は、利用者様が慣れ親しんだ自宅や地域での日常生活を継続することを目的として作成し提供します。

ご本人の心身の状況や要望及び、住環境にも配慮した計画とし、この地域での信頼できる事業所を目指して運営に取り組みます。

(二) 介護保険サービスを中心に、医療福祉サービスや関係機関等を結びつけるサービス計画の提供を行います。

資金収支当初予算

社会福祉法人の予算は、「社会福祉法人会計基準適用上の留意事項（運用指針）」「2予算と経理」に基づいて資金収支予算書を編成することとされています。

資金収支計算書は、「事業活動による収支の部」「施設整備等による収支の部」及び「その他の活動による収支の部」から構成されており、平成二十六年においては、消費税の影響とこれに伴う介護報酬の若干の値上げがあり、下表のような状況となりました。

平成26年度 資金収支予算書

(単位=千円)

勘定科目		①平成26年度	②平成25年度	差引増減 ①-②
事業活動による収支	151 介護保険事業収入	691,958	701,542	-9,584
	156 障害福祉サービス等事業収入	142,587	141,306	1,291
	上記以外の収入	6,265	10,175	-3,910
	事業活動収入計(1)	840,810	853,023	-12,213
	111 人件費支出	524,571	519,172	5,399
	112 事業費支出	146,518	142,437	4,081
	113 事務費支出	86,994	85,983	1,011
	118 支払利息支出	3,657	4,051	-394
事業活動支出計(2)	761,740	751,643	10,097	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		79,070	101,380	-22,310
施設整備等	施設整備等収入計(4)	2,751	5,553	-2,802
	施設整備等支出計(5)	77,077	65,341	11,736
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-74,326	-59,788	-14,538
その他の活動	その他の活動収入計(7)	7,849	13,842	-5,993
	その他の活動支出計(8)	10,593	55,434	-44,841
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-2,744	-41,592	38,848
141 予備費支出(10)		2,000	0	2,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0

八 第二仁生園(施設入所・短期入所・相談支援)

(一) 生活支援サービスの質の向上

- ・スキルアップ園内研修の実施等

(二) 安心・安全の確保

- ・介護事故防止への取り組み等

(三) 利用者様の日中活動・生活の充実

- ・地域行事等への参加等

(四) 計画相談支援事業の充実

- ・峡北地域自立支援協議会時宜要所連絡会

- ・及び、事業所部会への参加と連携

- ・外部研修への参加

四月一日付け、人事異動・昇任の発令がありました



第二仁生園 副園長
石原 公興

このたび第二仁生園副園長を拝命致しました。障害者施設は私にとりまして全く新しい職場であります。副園長として利用者様に安全で安心して生活できる施設になるよう愛寿会のモットーを旨に微力ながら園長を補佐し盛り上げていきたいと考えています。

障害者施設の副園長という大役を申し渡され、心境は新しい職務に戸惑い半分と期待半分が入り混じっております。その戸惑いではありますが、副園長とはいえ園長を補佐しながら一施設を運営しなければならぬことでもあります。まだまだ未熟な私にはたしてできるであろうか。また、同じ広義の福祉であります。新境地の障害者福祉、高齢者で多少は障害者福祉に関連した業務に当たったことでもあります。ほんの入り口程度の経験と知識しかない事があります。反対に期待であります。愛寿会の運営する九つの事業のうち、いまだ経験の無い三つの事業に望めるチャンスをいただけたことでもあります。何事も経験が必要で経験から得るものも多いはずですが、戸惑いと期待、いずれにしましても拝命を受けた以上、福祉にかわりはありません。実践を通して理解を深め自己研鑽を惜しまず、利用者の福祉増進に力を注ぎたいと考えています。

文末になりますが、関係各位のより一層のご支援とご協力をお願い致しまして就任のあいさつにかえさせて頂きます。



仁生園 事務所 リーダー
浅川 勉

四月一日付にてリーダーに昇任致しました。この四月からは特養の生活相談員として入所者様の事務業務全般、併せて在宅支援の面では、デイサービス・ショートステイの総合的な業務を坂本仁リーダーと共に担当させて頂きます。在宅で生活されています利用者の皆様に対し、より安全により快適で楽しみあるサービスを提供できるように努力して参ります。

また、小宮山理事長が常々尊ばれる「輪」というものを重んじ、今後の福祉業界に予想される強風に倒れることのないよう、勁草（けいそう）に例えられるような事業所を目指し、愛寿会で働く職員の方々と力を合わせ、更に一層仁生園を盛り上げていきたいと考えています。



仁生園 一―四班 リーダー
藤森 とよこ

四月一日より、一―四班のリーダーの任務に就くことになりました。

福祉の仕事に携わり十数年が経ちましたが、ここまで続けてこられたのは先輩職員、職場の皆様のおかげと感謝しています。

愛寿会の「三つのモットー」「七つの誓い」を守りながら、入所者様に仁生園で暮らせて良かったと感じられる、住みやすく居心地の良い生活を送っていただけるよう、努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



仁生園 デイサービスセンター
リーダー
坂本 仁

この度、地域サービス部デイサービスセンターのリーダー職及び法人事務局の総務企画担当という重責を拝命させて頂くこととなりました。私は、今後の福祉はより一層、専門化をしていくものと考えております。しかし、その原点は、当会の『三つの基本方針』と『七つの誓い』であり、これこそがすべてであると考えております。

今後も職員の皆様と、笑顔があふれ、人を思いやり、気配りを忘れず、地域社会との協働と融合を深め、ご利用者の皆様に愛され、より信頼を寄せて頂けるような体制づくりに努めて参る所存であり、これまで以上に粉骨砕身の努力をして参りたいと存じます。今後とも関係諸氏の皆様のご指導ご鞭撻を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



仁生園 二班 リーダー
北原 すづか

この四月より二班のリーダーとして任務につくことになり、身が引き締まる思いであります。

愛寿会の三つの基本方針と「はい」「すみません」「ありがとう」「おかげさま」「どうしましたか」「そうですね」「させてください」という七つの誓いを常に厳守し、入所者の皆様の身になつて支援に当たり、ご家族の皆様にも、信頼して頂き満足していただけるように、職員一同力を合わせ努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

感謝

平成二十六年三月一日
平成二十六年三月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。また、ご叱正を賜りながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- 北杜市 矢島 栄子 様
- 北杜市 板山 國夫 様
- 北杜市 名取 富雄 様

ボランティア活動

- レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- レクボランティアゆずつこの会 代表 佐野 恭子 様
うたなかま八ヶ岳 保坂 多枝子 様
井上 早智子 様
三村 明子 様
原田 勝子 様
伊藤 京子 様



北杜市にお住まいの矢島栄子様から、「ソファ」をいただきました。くつろげる場所が増え、利用者の皆様大変喜んでらっしゃいます。

上條ゆり子様 慶祝訪問

三月三日（月）、二日前に満百歳を迎えられた上條ゆり子様のお祝に、北杜市の職員の方が来園されました。

甲府市から駆け付けていただいた姪御さんによると、手芸がお得意で九十八歳まで一人暮らしをされながら頑張っておられたとのことでした。



当日は朝から楽しみにされていて、花束を渡されるとしつかりと自分の言葉でお礼をのべられました。いつも穏やかな言葉使いで、戦中戦後の大変だった話などをしてくださる、見習っていききたい大先輩です。

ひな祭り

ひな人形を飾り、ちらし寿司、ひなあられをいただきました。

ちらし寿司には、海老や菜の花を使いますが、海老は『腰が曲がるまで長生き』、菜の花は『春を感じられる』ということで、春の行事「ひな祭り」にふさわしいという話をし、歌を唄いながら、美味しくいただきました。

「ひな祭り」は桃の節句と言

われていますが、今年は大雪も降り、まだ肌寒く春が待ち遠しいところです。



第二仁生園 春の日の野点（のだて）を楽しみました

北杜市高根町にお住まいの伊藤様が、利用者様に抹茶を点ててくださいました。

本来は、野外で頂くものですが外はまだ寒い時でしたので、伊藤様のご配慮で園内に毛氈（もうせん）という赤い敷き物を敷き、茶釜のお湯を沸かし本格的な雰囲気の中で始めました。

茶器（茶碗）と茶筌（茶せん）と茶杓（茶さし）の事や、お茶の頂き方を分かり安く説明して頂きました。

京都から取り寄せたという和菓子には皆様ニコニコ顔でしたが、お抹茶を飲まれた時に「渋くて苦手」と、思わずお顔の表情が変わる方もいらっしゃいました。

それでも最後は「結構なお点前でした。」と楽しいひと時でした。



愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270